

## 外国人留学生への指導・相談関連

本学に在籍中の留学生だけでなく、留学生の家族、外国人研究者および学外の徳島大学入学希望する留学生を対象とした指導・相談を、常三島地区の「国際センター・国際課」と蔵本地区の「国際交流室・国際課蔵本分室」の二か所で行っている。常三島地区では常時相談対応が可能となっている。蔵本地区では事務職員1名が常時対応にあたり、加えて火曜日と金曜日午後に教員2名が協力して対応にあたっている。面談、電話、メールなどの形式で中国語、英語、韓国語、ベトナム語の四ヶ国語で対応できる体制が整っており、メンタルヘルスに関するカウンセリングが必要な場合は、保健管理・総合相談センター及び専門医と連携することで対応している。

相談内容で最も多いのは、一般的な進学・修学、授業料・奨学金、住居、生活、日本での就職などであるが、他機関・学内関係部局及び関係者と連携しながら対応しないと解決できない内容（例えば、窃盗事件、交通事故、家賃未納（不納）、不動産のトラブル、メンタルヘルスなどに関するもの）もあり、これら比較的重い相談に対しても数件対応している。

### 1. 新入留学生に対するガイダンス

新入留学生ガイダンスは、本学に入学した留学生に対し、修学・生活に関する指導を行い、留学生生活の円滑化を図ることを目的として、年2回（前期及び後期）常三島・蔵本キャンパスで開催しているものである。ガイダンスでは、国際センター教員から、学生生活や日本での日常生活に関する注意事項について説明するとともに、徳島中央警察署から講師を招き、防災や交通安全などについて解説して頂いた。特に、近い将来必ず発生すると言われている南海トラフ巨大地震への備えとして、緊急地震速報の内容や地震発生の際の避難方法について詳しく説明して頂き、学生は真剣な表情で耳を傾けていた。ガイダンス終了後には、徳島地域留学生交流推進協議会の関係機関から寄付していただいた食料品や日用品等を希望者に配付した。



前期ガイダンス：4月26日（木）に常三島地区、5月10日（木）に蔵本地区で開催。計36名が参加。

後期ガイダンス：10月18日（木）に常三島地区、10月25日（木）に蔵本地区で開催。計49名が参加。

### 2. 外国人留学生等対象の地震・防火 対策セミナー

1月23日（水）、国際センターは、北島国際交流会館に居住する留学生や研究者、その家族に、津波発生時の避難方法や防災・減災についての理解を深めてもらうために、同交流会館で防災訓練を実施した。本防災訓練には、31人の居住者が参加した。セミナーでは、徳島の津波被害想定などの説明を聞いた後、地震、津波、火事についての防災啓発DVDを視聴した。参加者は地震、火事発生時の身の守り方、避難方法等、とても真剣に見入っていた。最後に、参加者が119番通報の仕方を練習した。訓練終了後には、被災時に使える一日分の食料備蓄セットを学生全員に配付した。



### 3. 留学生のための就職支援

#### ①就職意向調査

今年度は、どの程度の留学生が日本での就職を希望しているのかについて調査を行った。調査は7月から準備を行い、11月に結果の集計を行った。集計結果から、約30%の留学生が日本での就職を希望していることが判明した。まずはそれらの学生に向けた支援の検討を今後行うこととなった。

#### ②就職支援セミナー

11月15日（木）18時より、株式会社マイナビによる、留学生を対象とした就職支援セミナーを開催し、日本の就職活動のシステム、日本企業が外国人留学生を採用する際に求めることなどを説明していただいた。参加者は13名とやや少なめであったが、参加した学生は色々と参考になる情報を得ることができたようである。

留学生の日本企業就職への関心は年々高まっているが、日本の就職活動のシ



システムをよく知らないために、日本人学生に比べて後れを取ってしまうことがある。国際センターでは、日本での就職を希望する留学生に必要な情報を得られる機会を設け、安心して就職活動を行えるよう支援していきたいと考えている。

#### 4. 留学生・外国人研究者のための情報セキュリティ説明会

情報センターとの共催で、留学生・外国人研究者に対して徳島大学情報セキュリティポリシーに関する知識を学んでもらうために、情報セキュリティ説明会を開催した。説明会では、情報センターの担当講師から、コンピュータウイルスやマルウェアの防止、秘密情報漏えいの防止、許可されないアクセスや妨害からの保護、法令違反の防止についての説明があった。12月19日（水）には、蔵本キャンパスで実施し43人の留学生と5人の研究者が参加した。12月20日（木）には、常三島キャンパスで実施し、138人の留学生と4人の研究者が参加した。



#### 5. 消費者トラブルに関する意見交換会

10月23日（火）に、消費者トラブルに関する意見交換会を行った。最初に、徳島県消費者くらし政策課の担当者から、消費者問題や詐欺による被害、日頃の生活におけるトラブルを防ぐことについて説明を受けた。意見交換会には、クイズ形式も取り入れられ、留学生は楽しみながら消費生活に関することを学ぶことができた。意見交換会は、日本語、英語、中国語で行われ、9人の留学生が参加した。



#### 6. 留学生受け入れおよび支援に関する活動

- 4月 新入学生に対するガイダンスの実施（常三島・蔵本）
- 7月 日本留学フェア（台湾）に参加
- 8月 サマースクール「徳島であおう」を開催
- 8月 日本留学フェア（タイ）に参加
- 10月 新入学生に対するガイダンスの実施（常三島・蔵本）
- 12月 外国人留学生のための就職支援セミナー

#### 7. 渡日前入学許可制度

2015年度にベトナムドンズー日本語学校（ホーチミン市）と協定を結び、徳島大学の学部への入学を目的とする「渡日前入学許可制度」を創設した。本制度はドンズー日本語学校からの推進を受け、書類審査、遠隔面接などを経て入学を許可するものであり、受験者の入学前日が必要となる。本制度で入学が許可された留学生に対しては、検定料・入学金・授業料免状と初年度の奨学金（60万円/年間）を支給する。また、対象留学生の日本語力を強化するため、入学前に本学で半年間の日本語予備教育を実施する。留学生の受け入れ部局は理工学部と生物資源産業学部に加え、2018年度には新たに総合科学部が加わった。

本制度の第一期留学生の2名は2016年10月に来日し半年間の日本語予備教育を終え、4月には理工学部と生物資源産業学部へそれぞれ入学した。第二期留学生の3名は2017年10月に来日し半年間の日本語予備教育を終え、4月には理工学部（2名）と生物資源産業学部（1名）へ入学予定である。2018年10月には第三期生の3名が本学での日本語予備教育を開始し、翌年の4月に理工学部（2名）と生物資源産業学部（1名）へ入学予定である。また、2018度は新たに韓国でも渡日前入学許可制度による入学試験を実施し、2019年4月に理工学部（2名）、2020年4月に生物資源産業学部（2名）が、それぞれの学部に入學を予定している。

	学生数	来日期間	入学期間	内訳
第一期	2	2016年10月	2017年4月	理工学部（1名） 生物資源産業学部（1名）
第二期	3	2017年10月	2018年4月	理工学部（2名） 生物資源産業学部（1名）
第三期	3	2018年10月	2019年4月	理工学部（1名） 生物資源産業学部（2名）

## 8. 学生サポーター制度

本学日本人学生からなる「学生サポーター」が日本語教育支援、国際交流イベント支援、海外ゲストに対するキャンパスツアーや外国人留学生への生活サポートを行っている。サポーター希望者はメールあるいはLINE（SNS）で登録を申請し、国際センター教員がイベントごとに参加者を募っている。このサポーター制度は、単に授業や行事の「手伝い」をお願いするのではなく、活動を通じて外国人留学生が日本人を知り、同時にサポーターも多文化・異文化を体験して、本学全体のグローバル化を進める役割も果たしている。2018年2月25日時点の学生サポーターの登録者は、117名となっている。今年度の活動内容は以下の通り。

月日	内容	学生サポーター人数
4月11日	クイーンズ大学（カナダ）からのゲスト2名へのキャンパスツアーアテンド	3名
6月23日	グローバルきもの教室（外国人留学生対象）運営サポート	10名
8月6日	日本語研修コース修了式	1名
8月7日	国際センターサマープログラム「徳島であおう」2018海外協定校からの参加学生へのキャンパスツアーアテンド、日本語クラスサポート、交流会参加	10名
8月10日	国際センターサマープログラム「徳島であおう」2018「茶道・書道体験」	8名
10月10日	新入外国人留学生へのキャンパスツアー	3名
11月2日	多文化体験交流会	12名
12月11日	国際交流サロン 留学生と書を楽しもう！	6名
2月12日	徳島・香川スタディツアー（外国人留学生対象）サポート	6名
2月19日	日本語研修コース修了式	4名

## 9. 国際シンポジウムの開催

2019年3月5日、阿波観光ホテルにて第15回徳島大学国際展開推進シンポジウム「母国で振り返る私の徳島大学留学生時代」を開催した。今年度はエチオピア、ベルギー、中国、インドネシア出身の徳島大学卒業・終了留学生4人を講演者として招き、徳島大学での留学生生活を振り返るとともにそれぞれの国における現在の取り組みについて講演を行った。（資料1参照）



## 徳島大学創立70周年記念



### 第15回 徳島大学国際展開推進シンポジウム

# 母国で振り返る 私の徳島大学留学生時代

主催:徳島大学国際センター

徳島での留学生活は母国でどのように活かされているのでしょうか？

徳島大学に留学し、帰国後母国で活躍されている方々にお話を伺い、併せて意見交換を行います。

**日本語による講演です。一般の方のご参加もお待ちしております。(申込不要)**

**期日 / 平成31年3月5日(火) 15:30~17:30**

**場所 / 阿波観光ホテル 4階ダイヤモンドパレス**  
(徳島市一番町3-16-3 JR徳島駅より徒歩1分)

**入場無料**

## プログラム

- 15:30 開会挨拶と趣旨説明 総合司会:金成海 国際センター教授
- 15:35 学長挨拶:野地澄晴 学長
- (講演)  
15:45 Academic Excellence and Leadership Nexus: Lessons from the Academic Link between Tokushima University and University of Gondar  
(学問の卓越とリーダーシップ:徳島大学とゴンダール大学との学術連携からの教え)  
エチオピア政府科学・高等教育国務大臣 Afework Kassu Gizaw 氏(エチオピア)
- 16:00 My Dream Triggered in Tokushima  
(徳島から始まった私の夢)  
インターユニバーシティ・マイクロエレクトロニクス・センター(IIMEC)研究開発技術員 金 栄現 氏(韓国)
- 16:15 Remaining True to Our Original Aspiration is One Form of Gratitude  
(恩返しには初心を忘れず)  
大連理工大学ソフトウェア学院教授 劉 玉琴 氏(中国)
- 16:30 10 Years of Life in Tokushima  
(徳島大学での10年間を振り返って)  
マレーシア国際イスラーム大学バイオメディカル学科准教授 Azran Azhim 氏(マレーシア)
- 16:45 意見交換会
- 17:20 学長から講演者への感謝状と記念品の贈呈
- 17:30 閉会挨拶

**お問い合わせ: 徳島大学 学務部 国際課 国際企画係 (TEL 088-656-7871)**  
e-mail: kokukikakuk@tokushima-u.ac.jp